



ポットラック

プロジェクト

トーク&イベント

開催日 2024/11/10 Sun.

REPORT 08

S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のトークとイベントが11月10日に子ども広場で開催されました。延べ200名以上が参加し、秋を感じるものややってみたいことを持ち寄り、それぞれの過ごし方で公園を楽しみました。このレポートでは、当日のイベントの様子やトークの内容をご紹介します。

ポットラックプロジェクトって？

自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。
小さくはじめる、日常の公園あそび。

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023年度から3年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の3つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返し行うことで、一過性ではない、新しいつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんが普段の生活で愛用しているもの、やってみたいと思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



2024年度のすすめ方



無理なくイベントを開催したり、集まることができるように話し合っ
て決めた今年度の活動予定です。イベント前後に、準備会やふりかえり
会をこまめに開催しながら今年度の取組を進めていきます。

トーク!

暮らすまちを楽しむ活動の続け方、広げ方



泉北をつむぐまちと
わたしプロジェクト 副代表

辻田 拓司 氏

泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト

泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト（通称：つむプロ）は、大阪にある泉北ニュータウンを活動の舞台とし、20代から60代までさまざまな市民が新しい魅力を創り、伝えるために活動しています。メンバーは自身のライフスタイルに合わせた関わり方や参加度合いで活動しています。現在は14つの企画に分かれ、それぞれのアプローチの仕方でも地域の魅力を創り、伝えています。私たちの特徴は、**自分たちで地域の新しい魅力をつくりながら情報発信していく**ことです。例えば、泉北ニュータウンの魅力の1つに「緑の豊かさ」がありますが、旧村部の美しい風景や豊かな食資源をSNSや口コミでただ発信するだけではなかなか伝わりません。そこで、私たちは「泉北レモンの街ストーリー」という活動をしています。この活動は、地域住民が住んでいた家の庭にたまたまレモンの木があったことからはじまりました。実は、泉北地域はレモンを育てるのにふさわしい気候であることがわかり、地域のあらゆるところでレモンの苗木を植え、そのレモンを使ったマーマレードやコーラをはじめとする地元の特産品をつくりました。今では泉北を代表する新しい魅力になっている活動です。また、「緑道ピクニック×カフェ」という活動では、ニュータウンの特徴である緑道で、ピクニックをしたりヨガをしたり、さまざまな活動をしています。

暮らすまちを楽しむ活動の広げ方

私たちの活動は、堺市の公募や口コミから始まりました。現在では70名ほどのメンバーで活動していますが、最初から今の人数が集まったわけではなく、活動が広がる中で徐々に集まっていきました。当初は、多くのメンバーが集まることに注力していましたが、活動を続ける中で、**この活動の雰囲気や方向性に合った人に参加してもらうことが大切**だと考え、募集方法を都度検討しました。新しく参加したメンバーにも企画を立ち上げてほしいという想いがあるので、最初のステップとして、企画書をつくり、その内容をプレゼンするなどの企画づくりの練習をしながら、チームとして活動をはじめようとしています。企画づくりの主なルールは「泉北の魅力を見つける、創る、伝える活動であること」「自主運営とし、継続を大切にすること」で、最低限のルールだけ決めて活動しています。メンバー内でのコミュニケーションも大切にしている、月1回程度のプロジェクトミーティングで企画のブラッシュアップや進捗状況の共有をしています。活動を続ける中で行き詰まってくることもあるので、他地域の事例の視察や、プロジェクトの運営手法を学ぶ「スキルアップ講座」も実施しています。年1回の「お披露目会」を開催し、これまで企画してきたことを社会実験として実施した後、ふりかえりの総会と打ち上げ、紡年会（忘年会）をしています。



Q and A

当日会場からでた質問の一部をご紹介します！

Q.1

新しいメンバーを増やす秘訣は？

A.

活動理念の伝え方や広報のデザインは大事にしていることの1つです。**人数が多ければいいというわけでもない**ので、活動に共感してくれる人はどんな人なのかをメンバー内で話し合い、そういった方が興味をもてるようなデザインや伝え方を心がけています。また、ひとつの活動に参加するだけでなく、活動が合わなかったら違う活動に参加するなど、いろんな選択肢があっていいと思います。

Q.2



活動の続け方

活動を続ける中で、プログラム数やスタッフ数、そして来場者の人数も増えていき、他にも活動する方や地域団体との連携も生まれました。増えていく来場者数を嬉しいとは思いつつも、やはり人をたくさん呼ぶことが一番重要ではないことに気づきました。まずは、自分たちがやりたいことを伝えたり、自分たち自身が楽しめるイベントにしたいという気持ちの変遷がありました。活動のながれは、企画をつくってお披露目し、新しいメンバーと一緒に既にある企画を実践しながら、また新しい企画をつくってみるというものです。このながれを繰り返すことで、新しい企画やメンバーが増えており、これ自体も新しい地域の魅力になっています。ほかにも公園にリアカーを引いてカレーをつくる「だんごりキッチン」、地域の女性がおしゃれな雑誌をつくる「RE EDIT」など、さまざまに活動していますが、その中には「つむアマ」というチームも生まれています。これはつむプロの「甘口」の活動ということで、企画のお手伝いやまちあるきなど、気軽に参加できそうな活動を自分たちのペースで実践しています。つむアマの活動をしてから、本格的に自分で企画を立ち上げるメンバーもいて、活動をはじめるハードルを下げるきっかけになっています。

徐々に築く緩やかな関係性

つむプロのメンバーはどんどん増え、メンバー内での結婚や出産などのおめでたいニュースもあり、活動だけでなく人間関係自体も深まっています。その中で、徐々に緩やかな関係性が大事だよねという話も出始めており、活動に参加したいときに参加して、参加できないときはできないというぐらいのゆるさがちょうどいいのではと考えています。当初はやるしかないと思い、さまざまな役割をして、やりがいを感じつつも大変さを感じていました。メンバーも私もプライベートだけけど仕事をしている状態に。なかなか活動を続けるのって大変だよねと互いに認識してからは、体制や活動内容を見直し、徐々に義務感なく活動できるようになりました。また、つむプロが始まって8年目の新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、活動体制に大きな変化がありました。対面で集まれないことやイベントが開催できないことから、定期的にオンラインでミーティングをしていましたが、いい意味で義務的に集まる必要はないよねということで必要に応じて集まるようになりました。ただ何もしなかったらメンバーとのつながりもなくなるので、年1回の総会や紡年会（忘年会）の継続や、他の地域活動と連携したイベント開催など大切にしたいことを見極めながら活動を続けています。また、企画が少しずつ増えつつあり、メンバーももちろん離れる人もいれば新しく参加する人もいます。各企画が自走しているので、興味のある企画に「楽しい」から活動するコミュニティになっています。



2 長く活動を続ける団体の形態とは？

A.

つむプロでは、活動の趣旨をあえて具体的にせず、緩やかにしていました。泉北地域の魅力を創り、伝えるために、それぞれの人が自分たちのやりたいことをまずは企画として形にすることを大事にし、それを応援したり後押ししたりしていました。そのことが、自分たちがやりたいことをそれぞれのペースで自分ごとで活動することにつながり、個々の企画が主体性を持つ分散型組織となりました。ただ、それだけでは別々の活動になってしまうので、活動の理念やデザインなどについては全体ミーティングで意思疎通しながら進めてきました。また、運営においても、自分だったらどんなことができるかを考えてポトムアップ式に出していくやり方に変えていきました。



イベント!

ポットラックピクニック 07

ポットラック ピクニック vol. 7

7回目となる今回は、「音楽の秋、読書の秋、食欲の秋 ... 「チル」する公園あそび」をコンセプトに、7つのプログラムが展開されました。



防災 Café

今回は、防災トイレの使い方や身近な植物で飲めるお茶をはじめとする非常時にチルく過ごすアイデアをみんなでお試ししました♪

オープンマイク

ウッドデッキをステージにみたくて、得意な歌や楽器演奏の披露の場に。広い空の下で気持ちよく歌う姿がみられました♪



焚き火

ポットラックピクニックの恒例となりつつある焚き火では、燃やす木や道具の種類だけでなく、温めたい食べ物の種類もバリエーション豊かに◎



クリスマスリースづくり

クリスマスカラーである赤色の実を基調としたオリジナルリースづくり! 年末に向けたしめ縄づくりも◎



手づくりおもちゃ教室とおもちゃ病院

「おでこ風車」「木のペンダントづくり」「くるくるフライヤー」の3種類のおもちゃづくりの体験。リピーターの子どもたちは、つくり方をすでにマスターしていました。



ゆったり読書とチェアリング

本とアウトドアチェアの貸出。公園の中のお気に入りの場所にアウトドアチェアをおいて、秋空の下でのんびりする姿がみられました。



手持ち花火会

夏に余った手持ち花火を持ち寄って実施した花火会。秋の澄んだ空気の中、きれいな花火が夜を彩りました。

